

発電所敷地内における空气中放射性物質の核種分析結果 < 1/2 >

参考値

(データ集約：12/26)

採取場所	福島第一 西門						炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時時刻	平成26年12月25日 7時00分～12時00分						
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-					
Cs-134 (約2年)	ND	-					2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-					3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 10<sup>-</sup> と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

福島第一 西門における検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約1E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約1E-7Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約5E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約7E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約7E-8Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

発電所敷地内における空气中放射性物質の核種分析結果 < 2/2 >

参考値

(データ集約：12/26)

採取場所	福島第一 1号機北側法面上		福島第一 1, 2号機西側法面上		福島第一 3, 4号機西側法面上		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時時刻	平成26年12月25日 7時49分～12時49分		平成26年12月25日 8時06分～13時06分		平成26年12月25日 8時01分～13時01分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.7E-06	0.00	ND	-	ND	-	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

． E - とは、 ． × 1 0 <sup>‐</sup> と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性の I-131 が約 1E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134 が約 1E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137 が約 2E-6Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状の I-131 が約 6E-7Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134 が約 1E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137 が約 6E-7Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

発電所敷地海側における空气中放射性物質の核種分析結果

参考値

(データ集約：12/26)

採取場所	福島第一 1～4号機近傍海側						炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時時刻	平成26年12月25日 7時56分～12時56分						
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-					1E-03
Cs-134 (約2年)	1.8E-07	0.00					2E-03
Cs-137 (約30年)	4.9E-07	0.00					3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

． E- とは、 ． × 1 0 ˆ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約8E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約7E-8Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約8E-8Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約5E-8Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 空気中のSr分析結果

1.測定結果：

(データ集約:12/26)

(単位：Bq/cm<sup>3</sup>)

採取場所	試料種別	採取日	Sr-89	Sr-90
福島第一 西門	揮発性	平成26年9月8日	N.D.	N.D.
	粒子状		N.D.	N.D.

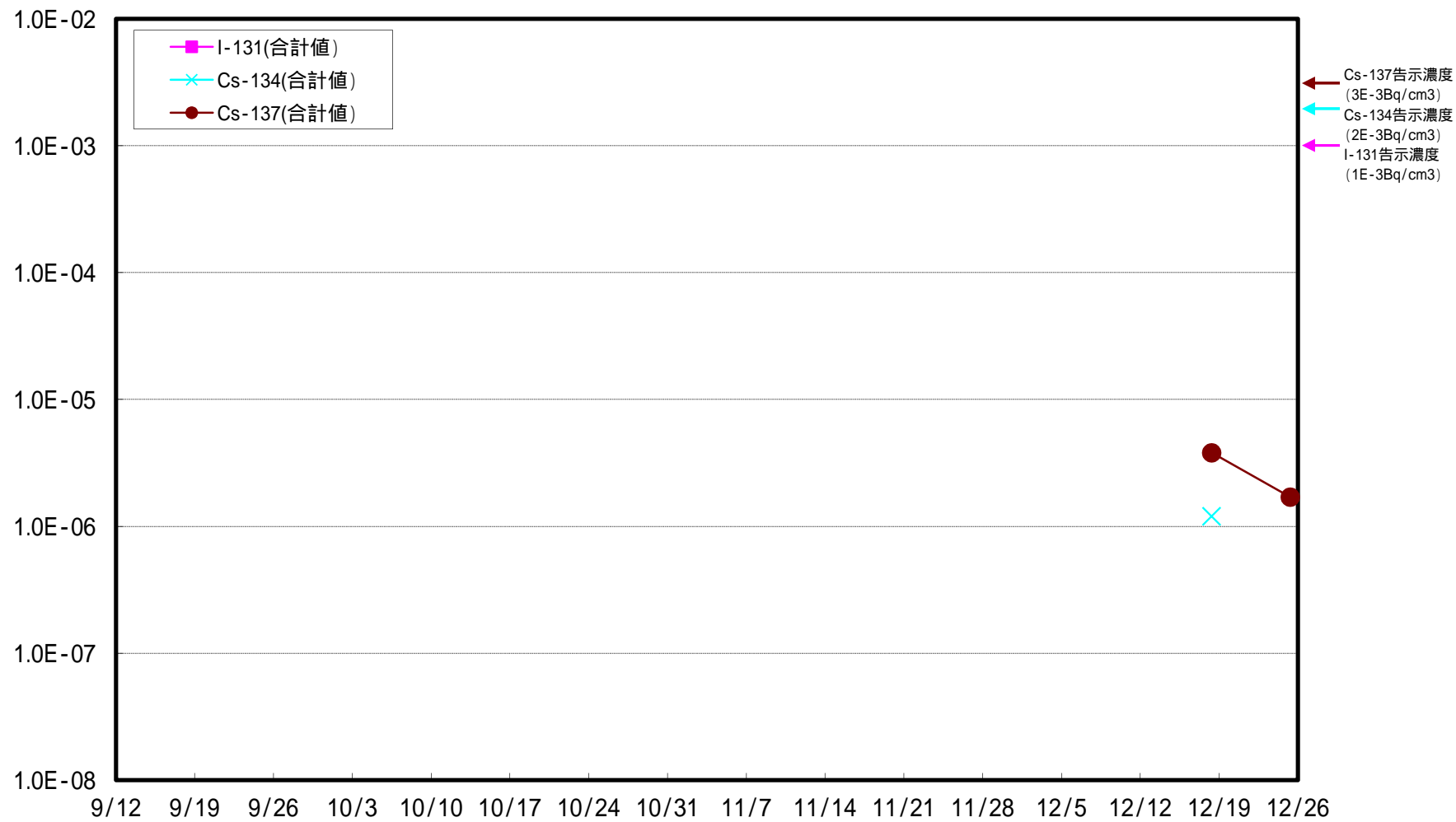
2.分析機関：株式会社 化研

3.評価：

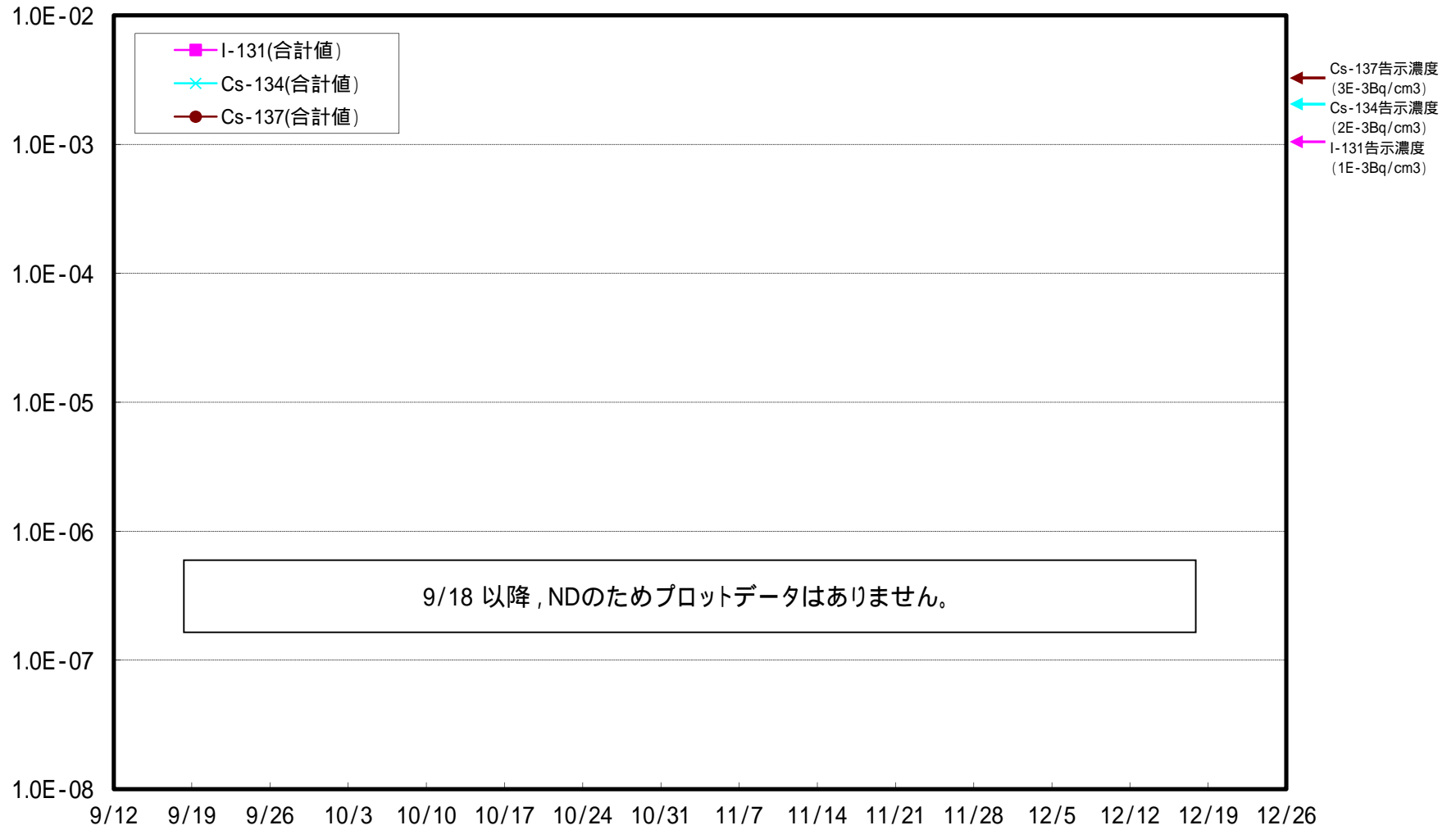
今回測定した試料からはSr-89,Sr-90は検出されなかった。

以上

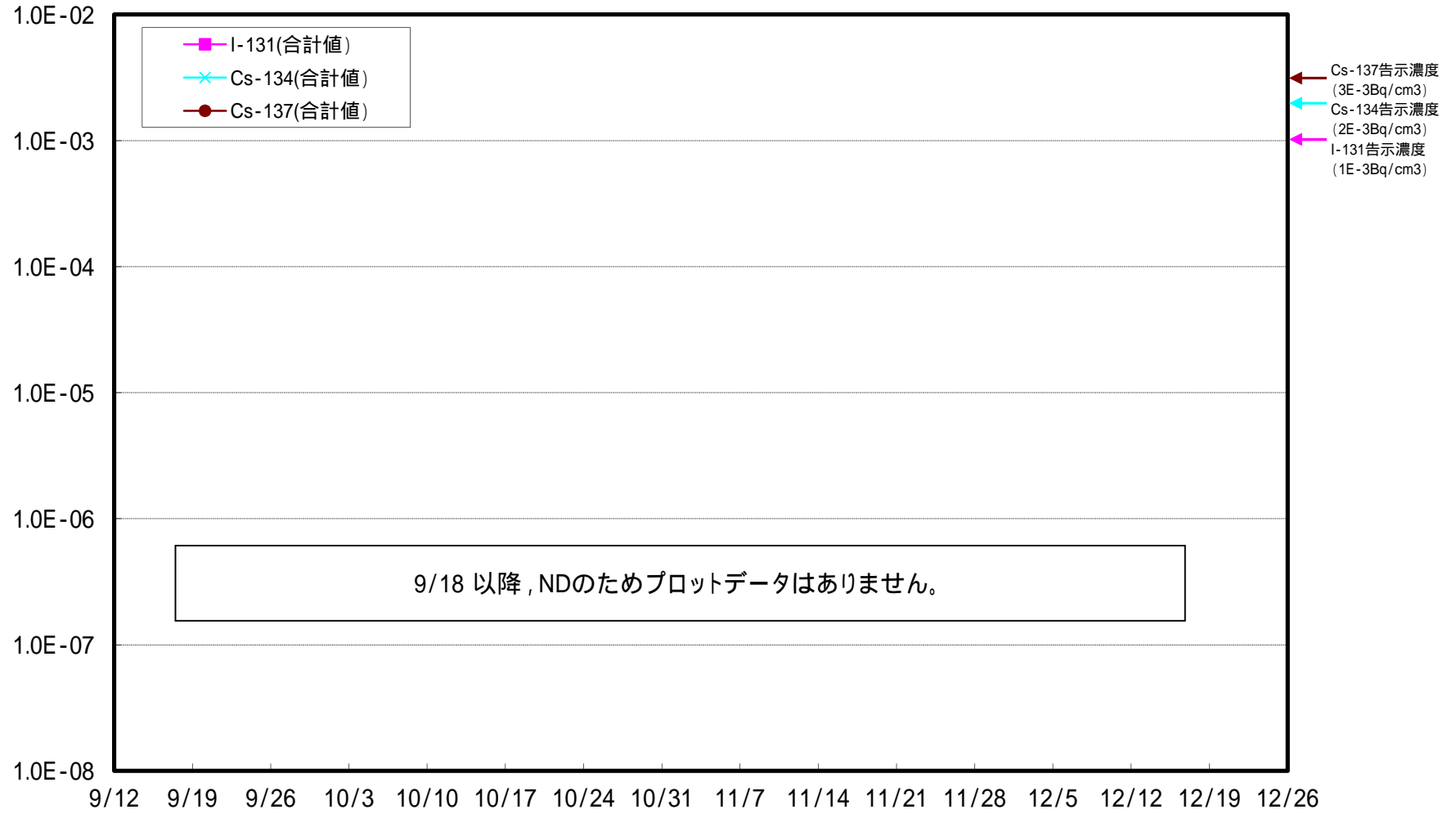
福島第一 1号機北側法面上 ダスト核種分析結果(Bq/cm<sup>3</sup>)



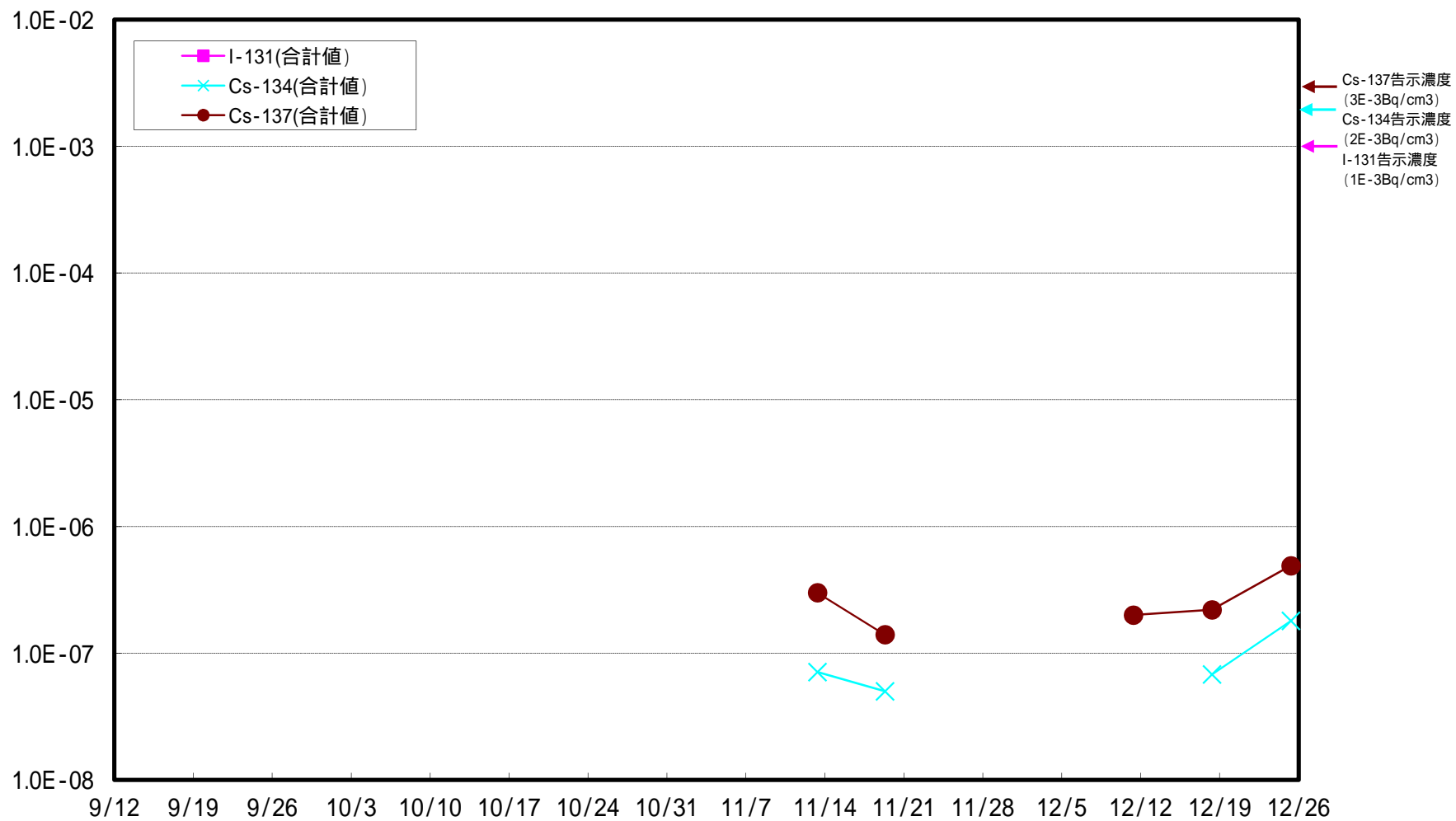
福島第一 1, 2号機西側法面上 ダスト核種分析結果(Bq/cm<sup>3</sup>)



福島第一 3, 4号機西側法面上 ダスト核種分析結果(Bq/cm<sup>3</sup>)



福島第一 1～4号機近傍海側 ダスト核種分析結果(Bq/cm<sup>3</sup>)





福島第一 西門 ダスト核種分析結果(Bq/cm<sup>3</sup>)

